

乳幼児健診(3~4ヶ月)を受けられた方へ

赤ちゃんは、生まれかときから身長や体重が違うのはもちろん、その後の成長のスピードや発達のプロセスも少しずつ違っています。3~4ヶ月健診では首がすわり体つきもしっかりしている赤ちゃんもいれば、まだ首がぐらぐらとして頼りない感じの赤ちゃんもいます。体格に個人差の出る時期ですから、他の赤ちゃんと比較したり、平均より小さいからとがっかりする必要はありません。あせらず育児を楽しんでください。

身の回りの安全をチェックしましょう

〈起りやすい事故〉 乳幼児の事故は大人が注意すれば十分防げるものです。

おねんねの頃 (~3.4ヶ月頃)

ふとんでの窒息——やわらかなふとんにうつぶせに寝かせたり、寝かせたまま目を離さない

ベッドからの転落——寝がえり前でもすり落ちることがあります。寝ついたら、柵を上げましょう。

自動車内に放置——くもりの日でも危険です。絶対に赤ちゃんを車内に残して車から離れないこと。(熱射病)

寝がえりの頃 (~5.6ヶ月頃)

手の届くものの誤飲——この時期は何でも口に入れてしまいます。たばこ・硬貨・ボタン・アメ玉・薬・化粧品・洗剤・小さなおもちゃ など 手の届くところに置かないようにしましょう。

ベッドからの転落——ベッドを離れるときには必ず柵を上げましょう。

回りのものにぶつがってけがをやる——一度寝がえりができるとすぐに連続してできるようになり、力がつくと速くまで移動してることがあります。床の上に危険なものがないか 広範囲にチェックしましょう。

はいはいの頃 (~1才頃)

風呂場・ビニールプールでのおぼれ——たつた10cmの水深でも溺死します。水遊びのときには決して目を離さないように。

やけど——炊飯器の吹き出し口にさわる。鍋をおいテーブルのクロスをひっぱる。ポットを倒すなど。またホットカーペットなどで昼寝をすると低温やけどの危険があります。



* ご心配なことがありましたらお気軽にご相談ください。 ~お/バ/ブ/...